

椿寮に増築棟 完成

60室 女子116人入室可能に

NEWS CIT

2018
6.15
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行



▲憩いの場となるラウンジ

寮室	ラウンジ	6F
寮室	ラウンジ	5F
寮室	ラウンジ	4F
寮室	ラウンジ	3F
寮室	ラウンジ	2F
ピロティ	ランドリ	1F

■建物概要(増築棟)
構造・規模 鉄骨造6階建
建築面積 332.56平方メートル
延床面積 1956.56平方メートル
最高高さ 28.61メートル
寮室 60室

▼ ダイニングキッチン



▼ 多目的室



新習志野キャンパスの女子寮「椿寮」の東側に接して新棟60室が
増築され、5月28日、瀬戸熊修理事長ら学内関係者と設計・監理の(株)
横河建築設計事務所、施工の鹿島建設(株)の約60人が出席して竣工式が
行われた。式後に内覧会があり、出席者たちは寮内の居室など真新し
い館内を見て回った。新棟は6月1日から供用を始めた。

増築棟の完成を待ちな
がら、入寮後しばらくゲ
ストルームで共同生活を
送っていた新入生たち
は、待望の新寮での生活
をスタートさせた。
工学志望の女子学生が

ニュースガイド

- 2面 荻野さん藤原准教授にJ R東
日本特別賞/ジムカーナ男子
団体3位/ fuRo支援の中高
生チームがロボ世界競技会で
活躍/友納副所長・入江上席
研究員に優秀講演賞/浦氏、
坂本氏に叙勲
- 3面 地球生命の復活で佐藤上席研
究員ら新発見/高校教員へ入
試説明会/長尾ゼミ「学びの
ハンドブック」改訂/出版案
内
- 4面 文化の祭典/成田山詣り脚

年々増加する中、2020年の東京五輪後に増築する構想を前倒して女子寮増築に踏み切った。これまで定員56人だった椿寮は、倍以上の116人が快適な学生生活を過ごせることになった。

新棟には1階に、旧棟のようにランドリールームやシャワー室を新設。2〜6階は連絡通路で旧棟とつながれ、各階東端には明るいラウンジが設けられた。寮生同士が会話を楽しんだり、リフレッシュする場となる。

これに伴い旧棟も改修工事が行われ、2階は広かったダイニングキッチン(DK)のスペースを生かし連絡通路を確保。DKを作り直す一方、多目的室を新設した。

学生寮は、50年の歴史を刻んできた千種寮(千葉市花見川区千種町)から平成26年、新習志野キャンパス内に移転。桑蓬寮(男子寮)に、初めて女子寮を併設して、6号館南東側のグラウンド端に建てられた。

男子寮、女子寮の各入り口には顔認証、学生証認証によるダブルチェック入管システムを採用。災害対策の渡り廊下などを施した。居室はすべて個室で、必要家具も備え付け。寮生のプライバシーに配慮しながらも、ダイニングやスタディスペース、談話スペースなどのパブリックスペースを配置し、共同生活で互いに切磋琢磨し個を高め合う「教育寮」としての新様式を整えた。

モンゴル音楽響く

津田沼で講演・演奏会

本学が主要3大学と交流協定を締結しているモンゴルの伝統音楽に耳を傾け、講演を聴いて同国の歴史や文化について、理解を深めようという催しが5月17日、津田沼キャンパス2号館3階の大教室で開かれた。本学の学生と教職員のほか、習志野市国際交流協会の関係者、提携関係にある神田外語大の教員と学生など約300人が参加した。

まず、本学審議役で5年3カ月にわたって駐モンゴル大使を務めた清水武則氏が「モンゴルの魅力」と題して講演。かつて世界を征服した民族の末裔の国であるモンゴルは、手つかずの大自然に抱かれた世界有数の

資源大国であり、東南アジアで唯一、全面的に日本を応援してくれている。「平和を愛する」「相互援助」の3つの精神を日本と共有している国である」と、その重要性を強調した。

また、モンゴル出身の横綱・白鵬関が「千葉工大の皆さんがモンゴルの歴史や文化を知り、音楽を楽しむ、より一層モンゴルという国を知ってもらえればうれしい」とビデオメッセージを寄せるサプライズに、会場には大きな拍手が響き渡った。

《注》ホーミー
1人で低い声と高い声を同時に出す歌唱法。喉(声帯)を締めながら一定した低音を出すのと同時に、舌を使って口腔内の形を変えて高い音を出す。



「イフタタラガ」は、モンゴル音楽を代表する楽器「馬頭琴」の3人の男性奏者と「揚琴」1人の女性奏者で構成。モンゴル民謡特有の男性の歌唱法である「ホーミー」は、参照IIを交え、女性歌手2人とともに民族音楽などを演奏。

この催しは、昨年7月、モンゴルを訪問した瀬戸熊修理事長が、帰国後、都内でのモンゴル伝統音楽の演奏会を聴き、感銘を受けて、「ぜひ、本学の学生にも聴かせたい」と発案。清水審議役の尽力で実現した。

現在、本学はモンゴル最古の名門、モンゴル国立大のほか国立モンゴル科学技術大、私立モンゴル工業技術大と交流協定を締結。惑星探査研究センター(PERC)が成層圏での宇宙塵採集のための放球実験を工業技術大と共同で2016年6月から行っている。

JR東日本特別賞

荻野さん 藤原准教授

正しい運行情報 提供アイデアで



受賞した藤原准教授(左)と荻野さん(中央)

社会にやさしい交通機関を実現しようと公共交通オープンデータ協議会(東京メトロやJR東日本など首都圏の交通事業者が加盟が募集した)が主催するコンテスト「東

京公共交通オープンデータチャレンジ」のアイデア部門で、荻野綾貴さん(電気電子情報工学科4年、藤原明広研究室)が

「正しい運行情報を割り出し、提供する。」というアイデアを練りました」と

「このチームは東邦大付属東邦高校3年の中嶋花音さんをリーダーとして、県内の男女高校生を中心に中学生を加えた「サクラ・テンペスタ」

「Rookie All Star Award」を獲得し、日本チームとしては初めて世界大会出場を果たした。

「この「サクラ・テンペスタ」のメンバーに対して、富山研究員は未来ロボティクス専攻修士課程の瀬戸悠介さん(上田研究室)の協力を得て、「ロボットとは何か?」を

「Rookie All Star Award」を獲得し、日本チームとしては初めて世界大会出場を果たした。

「富山研究員の話」FRCCではロボット製作だけでなく、資金づくりやチームの運営、社会貢献までが審査の対象で、これはまさしくプロジェクトマネジメントです。このようなチームを支援することは、千葉工大の教育力を示すという意味でも意義深いと思います。

furo 支援の中高校生チーム ロボ世界競技会で活躍

米デトロイトで4月末に開催された高校生国際的なロボット競技大会で、未来ロボット技術研究センター(furo)の富山健研究員らが支援した千葉市内の中・高校生チームが好成績を収めた。「千葉工大のロボット教育」に改めて関係者

の熱い視線が注がれている。このチームは東邦大付属東邦高校3年の中嶋花音さんをリーダーとして、県内の男女高校生を中心に中学生を加えた「サクラ・テンペスタ」

FRCCは世界的な話題を集めた「電動立ち乗り2輪車」―「セグウェイ」の開発者、ディーン・ケイメン氏が創設した理数系(STEM)教育振興のための米NPO団体「青少年科学技術振興会」(FIRST)が

「Rookie All Star Award」を獲得し、日本チームとしては初めて世界大会出場を果たした。

「この「サクラ・テンペスタ」のメンバーに対して、富山研究員は未来ロボティクス専攻修士課程の瀬戸悠介さん(上田研究室)の協力を得て、「ロボットとは何か?」を

「Rookie All Star Award」を獲得し、日本チームとしては初めて世界大会出場を果たした。

「富山研究員の話」FRCCではロボット製作だけでなく、資金づくりやチームの運営、社会貢献までが審査の対象で、これはまさしくプロジェクトマネジメントです。このようなチームを支援することは、千葉工大の教育力を示すという意味でも意義深いと思います。

ジムカーナ男子団体3位

自動車部 鈴鹿の全日本学生選手権出場へ

舗装路でタイムを競い合う平成30年度全関東学生ジムカーナ選手権大会は5月13日、静岡県駿東郡小山町の富士スピードウェイ・ジムカーナコースに21校が参加して開かれ、本学体育会自動車部(主将・大井健司さん

1年)が男子団体で3位に入賞。全日本学生ジムカーナ選手権(8月18、19日、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催)への出場を決めた。

チームは倉田祐太郎さん(機械工学科3年)、赤



疾走する自動車部の車と(左から)兼定さん、伊丹さん、倉田さん



午後大雨となり、コースに水が溜まってスピードする車両も増える中、千葉工大チームは落ち着いた走りを見せ、合計3分3秒の好タイムをたたき出した。1位は法政大、2位は中央大チームだった。

「サクラ・テンペスタ」は、高校1〜2年にかけての米国留学時にFRCCに参加した中嶋さん

「Rookie All Star Award」を獲得し、日本チームとしては初めて世界大会出場を果たした。

「この「サクラ・テンペスタ」のメンバーに対して、富山研究員は未来ロボティクス専攻修士課程の瀬戸悠介さん(上田研究室)の協力を得て、「ロボットとは何か?」を

「Rookie All Star Award」を獲得し、日本チームとしては初めて世界大会出場を果たした。

浦氏、坂本氏に叙勲

危険性の高い業務に長年従事した人に贈ら

叙勲が4月29日に発表され、千葉工大の浦修一氏(新習志野施設課・用務員)が瑞宝双光章を、坂本正夫氏(千種校地・警備員)が瑞宝単光章をそれぞれ受賞した。

友納副所長 入江 優秀講演賞

自律ロボットのSLAMを改良

未来ロボット技術研究センター(furo)の友納正裕副所長と入江清上席研究員が第18回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(昨年12月20〜22日、仙台市の仙台国際セ

「この「サクラ・テンペスタ」のメンバーに対して、富山研究員は未来ロボティクス専攻修士課程の瀬戸悠介さん(上田研究室)の協力を得て、「ロボットとは何か?」を

「Rookie All Star Award」を獲得し、日本チームとしては初めて世界大会出場を果たした。

「富山研究員の話」FRCCではロボット製作だけでなく、資金づくりやチームの運営、社会貢献までが審査の対象で、これはまさしくプロジェクトマネジメントです。このようなチームを支援することは、千葉工大の教育力を示すという意味でも意義深いと思います。



友納副所長



入江上席研究員



富山研究員(左)のアドバイスを受ける参加者

「この「サクラ・テンペスタ」のメンバーに対して、富山研究員は未来ロボティクス専攻修士課程の瀬戸悠介さん(上田研究室)の協力を得て、「ロボットとは何か?」を

「富山研究員の話」FRCCではロボット製作だけでなく、資金づくりやチームの運営、社会貢献までが審査の対象で、これはまさしくプロジェクトマネジメントです。このようなチームを支援することは、千葉工大の教育力を示すという意味でも意義深いと思います。

突絶 衝滅 天竜 小恐

生命、数年で復活

佐藤上席研究員らが発見



恐竜など地球上の生物を大絶滅させた約6600万年前(白亜紀末)の小天体衝突後、わずかに3年で生命が復活していたことを、佐藤峰南・本学次世代海洋資源研究センター(OReNG)上席研究員2写真ら31人の日米共同研究チームが発見した。5月31日までに海洋研究開発機構などが公表した。

研究員のほか、山口耕生・東邦大理学部准教授、東北大学理学国際研究所の後藤和久准教授、海洋研究開発機構高知コア研究所の富岡尚敏主任技術研究員ら日本の研究者4人と、米テキサス大オースティン校のクリス・ロウリー研究員ら。日本地球掘削科学コンソーシアム(大学や研究機関が2003年に設立)が支援した。

衝突天体は直径約10キロでメキシコ・ユカタン半島の北部に直径約200キロのクレーターを形成。環境の大激変を起し、当時の生物の約76%が絶滅したと考えられている。その爆心地調査のため2016年4〜5月、国際深海科学掘削計画(日本など23カ国が参加)の研究航海が行われ、欧州提供の特定任務掘削船が

全長800以上の柱状試料を掘削採取。そのうち白亜紀からの移行期を含む約1キロの堆積物が詳細に分析された。

堆積物には衝突由来の超巨大津波でクレーター内に運ばれた堆積物が含まれており、微化石(微小なプランクトン)の遺骸や生痕化石(古い痕のよう生物の生活痕化石)の分析が元素・同位体分析と合わせて行われた。

その結果、衝突後2〜3年以内という想定外ともいえる短期間で生息可能な環境が復活し、少なくとも3万年内には植物性プランクトンが作る有機物をベースにした

多様な生態系が復活していたことを突き止めた。地球上の他地点よりも、クレーター内の生態系の復活がずっと早かったことになるといえる。

佐藤上席研究員らは「復活速度に最も影響を与えたのは海洋循環や食物連鎖(生態学的な)生息場所があったか、といったローカルな要素だったかもしれない。また、天体衝突後の生態系は、衝突前に比べ、かなり違っており、生き延びた。この成果は英科学雑誌ネイチャーに発表された。

たわずかな生物種は、衝突後の海洋という新環境に、よりよく適応するよう進化していった、と推察されるとしている。この成果は英科学雑誌ネイチャーに発表された。

北海道からも2校参加 高校教員へ入試説明会

高校の教員を対象とし、説明会が5月29日津田本学の平成31年度入試



説明会が5月29日津田本学の平成31年度入試、6月1日東京スカイツリータウンキャンパスで開かれ、2日間で計200校の受験担当の先生たちが参加したII写真は津田沼キャンパス。

近年の大学のブランド力上昇を反映して、30年度の本学志願者数は7万8905人と過去最高を記録。志願者の出身地域も広がり、「全国区」の大学として認知されてきている。

今回の津田沼での説明会に北海道から2校が参加。スカイツリータウンの説明会にも初めて参加する高校が目立った。また、昨年は3校にとどまっていた神奈川からの6校が参加した。そのうち初めての参加となった高校が多くみられ、改めて本学の存在を見直した形だ。

2回の説明会を通して小宮一仁学長が高校教員に最も強く訴えたのは、6年前の就任以来、最重要課題として「教職協働」を進めてきた教育改革の成果。なかでも中途退学者の減少は顕著で、学長就任前の平成24年度には507人だった退学者が29年度には240人となり、今年度はさらに減少する見通しだとして、こう語った。

「退学者・留年率の改善で就職率もアップしており、毎年、過去最高を記録しています。」

そして、教育水準を維持しながらこうした成果を上げた背景には、教育研究にかける教員の「やる気」を引き出すことが

続きいて大川茂樹・入試委員長(副学長・未来ロボティクス学科教授)が31年度のAO・推薦、センター利用、一般入試の要点などを説明した。それによると30年度と大きな変更はないが、①センター利用(前・中期)の英語の外部資格・検定の基準スコアを変更②センター利用・一般入試が試験前日までウェブによる出願が可能になる(全国初)。

最後に日下部聡・入試広報部長が、文科省の定員厳格化の影響で、合格者数を絞らざるを得ない大学側の状況について報告した。

長尾ゼミの女子6人 「学びのハンドブック」改訂

千葉工大生が持つ貧乏タブレット端末にアップされている新入生向け「学びのハンドブック」の見直しを、長尾徹・デザイン科学科教授(17年度FD委員長)のゼミが担当して行い、改訂版が新学期から使われている。教務委員会とFD委員会の2017年度協働事業として行われた。

改訂は宮崎愛弓さん(博士課程2年)を中心に、4年生の大西梨子さん、鍛冶本碧さん、草薙幸乃さん、四條里那さん、土井ひかりさんら女子6人が担当した。

ハンドブックは千葉工大の歴史、大学生生活Q&A、レポートの書き方などのスタディ・スキルズ、防災対策などで構成されている。

6人はデザイン科学科で学んだ「情報デザイン」の素養を基に、学生の視点で従来版についての情報の構造化、視覚化がうまくできているかを精査。自身が入学時に戸惑ったこと、知りたかったことなどを振り返って全体を捉え直し、情報を再

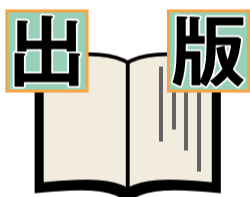
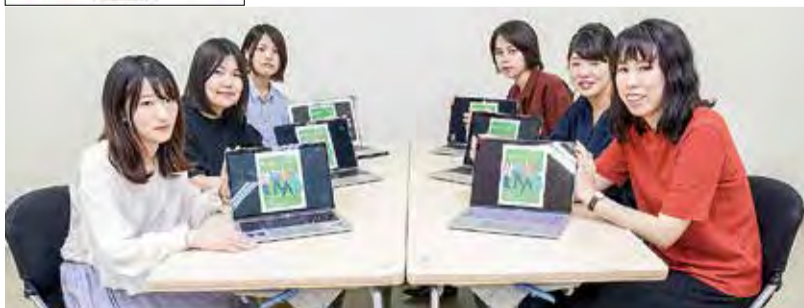
構成した。イラストや図版を添え計37ページにまとめた。新入生に知ってほしい情報順に掲載し、補足説明が見つらかったの

で、上下分割のレイアウトに変えた。もっと詳しく知りたい学生のために新たに大学サイトのURLを記載し、ポータル的な役割も加えたという。

指導した長尾教授は「グラフィックデザインも含め、『人に伝える』ことは、簡単そうでは多くのプロセスを必要とする高度な行為です。『情報デザイン』はその高度な行為を体系的に身につけ、正確に分かりやすく『伝える』ことを可能にします。学生たちの学びの成果も確認できてよかったと思いたす」と語った。



改訂したハンドブック(表紙)と長尾ゼミの6人



2017年3月に発行された「Raspberry Piで学ぶROSロボット入門」の英語版。

ROSを実機で使う技

Learning ROS robot programming with Raspberry Pi

著者 上田隆一・未来ロボティクス学科准教授
発行 日経BPP社
価格 4860円(税込み)



上田准教授

小さな基板1枚にARM(アーム)ベースのCPUやパソコン並みのハードを積みこんだRaspberry Pi(略称ラズパイ)について、搭載した車輪型ロボットを例に、Linuxで動くロボットのプログラミングを説明している。

業界標準となったROS(ロス||Robot Operating System)を中心に、その技術を実際にロボットRaspberry Pi Mouse(アールティ製)を動かしながら経験できるように構成。ROSを実機で使う知識と技を、国際語に慣れながら学べるようになっている。

さらにUSBカメラを使った顔認識や、音声認識ソフトを使った音声制御、スマートフォンなどから操作できるウェブアプリの作成、測域センサーを使った地図の生成なども詳述している。巻末にデバイスドライバのプログラミングなどの付録も。

発表、催し、咲き乱れ

第23回文化の祭典 開く



㊤熱気あふれるステージ ㊦神田外語大生のステージ



ミニ電車の乗車体験



吹奏楽部員と小宮学長

第23回文化の祭典（実行委員長・大館賢人さん）金融・経営リスク科学科4年）は5月27日（日）、津田沼キャンパスでにぎやかに開催された。親子連れなど市民約3500人が訪れ、学生たちと一緒に催しを楽しんだ。

神田外語大生らも参加

今年度のキャッチコピーは「文化繚乱」。実行委員たちは元の言葉「百花繚乱」を借りて、各集団の活動成果や文化の花が一堂に咲き乱れるような場を作りた」と願った。

工学、文芸、音楽、アニメなど各分野のサークルが、練り上げた企画を6号館を中心に展示。特設ステージやパフォーマンス広場では、音楽サークルが軽快な演奏を繰り広げた。よさこいソラン風神舞は恒例の力強い演舞を披露。連携協



開会式で大館実行委員長



模擬店

「ワクワクさん」として親しまれている人。来場した親子と一緒に工作を楽しんだ後、「ワクワクてあそび」の番組の豆知識、裏話を明かし、

300人お疲れ様！

第52回 成田山詣行脚

津田沼キャンパスから成田山新勝寺までを徹夜で歩く第52回成田山詣行脚（実行委員長・井村彩聖さん）は5月12、13日に行われ、学生・教職員約300人が約40



㊤記念撮影 ㊦理事長に迎えられ

の行程を歩き通した。精神力、体力の向上と無病息災を願い、親睦も兼ねて毎年行われる。新入生には、初めての大きな行事のひとつ。

井村実行委員長の話 「はじめの一步」を踏み出したことで、部活動・サークル仲間や他の参加者、神田外語大の方々と親睦を深められたのではないかと思います。50年

「はじめての一步」を踏み出したことで、部活動・サークル仲間や他の参加者、神田外語大の方々と親睦を深められたのではないかと思います。50年

「はじめての一步」を踏み出したことで、部活動・サークル仲間や他の参加者、神田外語大の方々と親睦を深められたのではないかと思います。50年

声をかきつけられ、運営に携われたこと、仲間との協働作業を無事終えられたことに感謝するばかりです。

以前、知り合いのパン職人が登場してから毎週欠かさず見るようになった「7ルール」。テレビに出る事はなかなかないが、さまざま分野で、自らのキャリアを輝かせている女性に密着する新感覚ドキュメント。番組

非常に興味を沸かした。結果的には、彼女のまつすくな姿勢と謙虚で、真摯な仕事ぶりを目の当たりにし「こんなに丁寧に生きてきたことないわあ」と、反省するのみ。ルールを課すことで、女性としての行き方を偷し、自分らしく輝くことが出来たらステキだ。みなさんにも、何か「ルール」はありますか？

大橋 慶子

クラブ、2位は電子工学研究会、3位は演劇部だった。大館実行委員長の話 今年は何時時期を改善した効果で、参加団体数、来場者とも前年度を大きく上回ることができました。文化系団体のための発表場所という目的は忘れないで、これからも千葉工業大学の発展につながるよう尽力していきます。

先日、本学同窓会の平成30年度通常総会が津田沼校舎で開催され、盛会のうちに終わりました。今回の総会で会長をはじめとして、副会長、役員、評議員の交代がありました。同窓会運営に携わってくれた方々のご尽力に感謝するとともに、ご健勝を祈願いたします。

さて、私が本学に学生として入学してから25年以上が経過しました。その頃から、動くことが嫌いな私に一番縁遠いと思われるイベント、「成田山詣行脚」に先日、研究室の学生とともに参加しました。数年前までは、まさか自分が「成田山詣行脚」に参加するなんて夢にも思いませんでした。もちろん学生も含め全員完歩しましたが、体を動かすことで、心がり

先日、足をぶつけた私に、主人が「ボーっと生きてんじゃねえよ！」といきなり叫びました。ビックリしたものの、笑ってしまいました。今度は、へまをした主人に言い返したく、チャンスをつかっています。

鈴木 憲子

四季雑感



今、NHKで放送されている「チコちゃんに叱られる」という番組をご存知ですか？ 私は、毎週楽しみにしています。チコちゃんは、永遠の5歳で白金在住の女の子、口が悪くたまに大阪弁、表情豊かかわいらしく、家ではあやが待

編集だより



日をもっと輝かせるための「7ルール」に注目する。近年ドラマでも人気を集めた「校閲ガール」。校閲は出版物の誤字脱字はもちろん、事実関係の誤りなども指摘し、未然に防ぐ仕事だ。業種も仕事内容ももちろん違っているが、入試広報課に所属し、少なからず「文字」を扱う場面が多い私にとって、校閲という仕事にどのような取り組みがあるのか、ドラマではない部分

大橋 慶子